

は君かもしない。だから僕は君のために代わりに太つてていると言つても過言ではないんだ。」

普通の人「：だから？」
おでぶちゃん「その余つたドーナツ食べていい？」

「フライ」走つて電車の中の虫つてどうやつて飛んでるの。走つて電車と同じスピード出して飛んでるってことかな

「高所恐怖症の人は天国に行けても楽しめない件について」

主：おれ高所恐怖症なんだけどどうすればいい？
＊：下を見ないで前を見るんだ
＊：天国行きを断つて地獄に行く
＊：俺たちはどうせ天国に行けないから
＊：毎日、目をつぶつて過ごす
＊：お前は天国行けないからお k
＊：毎日、アイマスクを装着して過ごす
＊：目玉をとる
＊：それはもはや地獄や（目玉をとる
＊：いま天国は入場規制掛かってるから入れない
＊：まじ？ いま天国入場規制掛かってるから入れない
＊：なんかCD買わないと閻魔様にも会えないらしい
＊：なにその人気
＊：しかもCDに付いてる握手券だから天国

行きの手続きもしてもらえない

*：どつかのアイドルか w
*：ヘブンローテーション
*：H e a v e n d a y、カチューシャ
*：T G K 4 8 か

*：なんだ、閻魔様つてバスなのか
*：わろた wへなんだ、閻魔様つてバスなのか
*：マジレスすると、天国なんてないから大丈夫
*：死んでから考えよう
*：おれ暗所恐怖症だけど地獄行きつて言われた

*：なんだ、閻魔様つてバスなのか
*：わろた wへなんだ、閻魔様つてバスなのか
*：マジレスすると、天国なんてないから大丈夫
*：死んでから考えよう
*：おれ暗所恐怖症だけど地獄行きつて言われた

*：わろた wへなんだ、閻魔様つてバスなのか
*：マジレスすると、天国なんてないから大丈夫
*：死んでから考えよう
*：おれ暗所恐怖症だけど地獄行きつて言われた

「男の子と女の子」男の子は必死だ。学校の授業中に大災害が起きたことを安全に逃げる方法を考え、さらに逃げ遅れた可愛い女の子を助けに行つて二人で生き残る術を、練習問題を解いていない時はいつも考えている。

女の子は香氣だ。そんなときツイッターを見ている。
「男の子と女の子2」男の子は必死だ。学校の授業中に大災害が起きたことを安全に逃げる方法を考え、さらに逃げ遅れた可愛い女の子を助けに行つて二人で生き残る術を、練習問題を解いていない時はいつも考えている。

「見た目が」赤ちゃんとおっさんつてけつこう似てる
「見た目が」赤ちゃんとおっさんつてけつこう似てる

「夢」歯が抜ける夢と人に追いかけられる夢とえつちな夢はだいたいみんな見てるつまりみんな歯が抜けるし、人に追われるようなやましいこともしているし、やっぱりすべきなんだなあ

「男の子と女の子3」男の子は必死だ。学校の授業中に人気の無い所で不良に絡まれた女子を助け）ry
女子はそんなどきフェイスブック ry

夜の詩

田中 穂平

外国語学部
英語英文学科 3年

「いざない」

人が沈む

人々の騒めきが引くにつれて
夜の顔が

ぼつんぼつんと現れる

ずっとこつちを見ている

最後の明かりを消すと
彼らがすつとそばに寄つてきて
音のない

夜の足音を聞く
真つ暗闇に包まれた
世界の輪郭を失つた
きつとここは
どこでもない

「夜なぐさみ」

とある夜に

人々は滅茶苦茶なことをする

冷えた風にも負けず

夜通し街を練り歩き

酒を飲み

うたを唄う

勝ち負けもなく
善と悪もなく
争いや親しみもない

そんなことがあつてもいい

都の闇は働いている
点滅、交錯、反射

光はいそがしい
そんなものを
泳がせている

都の闇は死ない
祭り上げられた男が建てる

高いビル
格好の逃げ場所を
与えてくれる

「都の闇」

都の闇は生きている
人々が新しく覚えた

夜に命を削ること
そんなことを

見守つている

都の闇は働いている
点滅、交錯、反射

光はいそがしい
そんなものを
泳がせている

都の闇は死ない
祭り上げられた男が建てる

高いビル
格好の逃げ場所を
与えてくれる

都の闇は死ない
祭り上げられた男が建てる
高いビル
格好の逃げ場所を
与えてくれる

行進は続く
明けない夜が
泣かないように

127 PLUS i

都の闇はそばにいる
口を開けても
何も君の前を
照らさないのなら

文明が生み出したもの
高尚な快樂と
指一本の仕事率
そして作り物の夜明け

あおいろ詩繡

し
しゅう

『生きている蒼い宝石の中で』

白い砂浜に残る小さな足跡 潮風に抱かれる心
きらきらと続くさざ波の音は 蒼い夢の中に溶
けては消えてゆく
瞳に覗いてくる きらきらな蒼は 呼吸している
宝石達

太陽に抱かれて キセキは蒼色に輝き 生きる宝
石となつて この星を廻していく
もしかして他に この星が蒼い理由は

僕達の想像や願望を光に照らしたら 蒼かつた
からかもしれない

涙の味が広がる蒼い夢

貝がらに隠れてい夢の粒

メッセージを残した砂浜の手紙は さざ波で届け
る一つの気持ち

太陽の我がままで キセキは蒼色に輝き 生きる

太陽に抱かれて キセキは蒼色に輝き 生きる宝
石となつて この星を廻していく

この星を廻している

太陽に抱かれて キセキは蒼色に輝き 生きる宝
石となつて この星を廻していく

この星を廻している

僕達も生きている

手にすくつて溜めた きらきらな蒼は 生命輝く
宝石達

太陽に抱かれて キセキは蒼色に煌めき
命あふれる宝石となつて この星を廻していく

僕達が歩むこの星の足跡は 生きている蒼い宝
石とともに息をしている

一日 一日 生きているんだ

この星の七十の隙間に
太陽の不思議な歌が広がり
キセキは 蒼い夢に産まれてきて
この星を廻している
僕達も生きている

伊藤洋佑

経済学部
経済学科 3年